

G o T o キャンペーン開始に当たり新型コロナウイルス感染症対策に関する 市長メッセージ

本日、7月22日より国のG o T o キャンペーンが始まりました。

6月19日の来島自粛解除以降、徐々に観光客が戻ってきておりますが、明日からの連休以降、さらに多くの観光客が宮古島を訪れるようになると予想されます。

国内において、新型コロナウイルス感染症が増加傾向にある中でのキャンペーン開始となり、不安を感じている市民の皆様も多くいらっしゃると思います。

市経済の回復を担う観光産業を推進するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐには、観光客及び市民の皆様のご協力が必要であることから、今後の観光受入に際し、市長メッセージを発して、注意を喚起したいと思います。

まず、宮古島を訪れる観光客の皆様は、居住地と同様に、島内においてもマスク着用や手洗い等を続けてください。また、宮古島市内の宿泊施設や飲食店等が実施している検温等の感染症対策について、積極的にご協力をお願いします。旅行中、体調に不安を感じた際には、沖縄県の新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口コールセンターへのご連絡をお願いします。

市民の皆様は、「新しい生活様式」を実践し、感染防止に努めてください。緊急事態宣言解除後、スーパー等でマスクを着用されていない方が徐々に増えております。新型コロナウイルスに負けない島づくりの為、特に室内で人の多く集まる場所では、マスク着用を徹底していただきますようお願いいたします。

現在、市は、宮古島観光協会及び宮古島リカバリープロジェクト委員会等と連携し、安全・安心な観光受入に向け、マスクや消毒液の配布等準備を進めています。

島内の宿泊施設や飲食店等の観光客受入施設では、宮古島リカバリープロジェクト委員会が策定したガイドラインによる感染症対策を実施しております。

また、本日より、宮古空港に沖縄県の旅行者専用相談センター分室（通称：TACO）が設置され、本格的な水際対策が始まっています。

新型コロナウイルス終息には、まだまだ時間がかかることが予想されます。市は、国・県・観光関連事業者と連携し、感染症対策を進めてまいりますので、市民及び観光客の皆様も、これまでの感染症対策を継続していただきますよう、重ねてお願いいたします。

※TACO：「トラベラーズ アクセスセンター オキナワ」の略